

大飯原発の再稼働に反対し、シュプレヒコールする  
参加者=14日、福井市大手2丁目

3/15  
福井



## 反対派 県庁前で抗議

関西電力大飯原発3号機が再稼働した14日、原発の再稼働に反対する県民ら約30人が県庁前で「立地自治体から政治決断を」と抗議行動した。県内の反原発団体でつくる「オール福井反原発連絡会」などが呼び掛けた。参加者一人一人がマイクを持ち「福島原発事故の実態が明らかになっていないのに、再稼働に踏み出すのは考えられない」「大飯原発、高浜原発の同時発災時の避難マニュアルはまだ詳細が決まっていない」などと反対理由を語った。

2月の豪雪で不安が増した

とする参加者も多く、「雪で移動手段がなくなったときに事故が起きたら、もう逃げられない」「大雪の対応もまともできない知事に、原発事故の対応ができるわけがない」との声も上がっていた。最後に参加者全員で「大飯原発再稼働反対」などとシュプレヒコールした。

また大飯原発近くの駐車場では集まった反対派の市民団体メンバーら約50人が「関西電力に事故は防げない」などと批判。「再稼働絶対反対」と氣勢を上げながら原発前のゲートに向けて行進した。一方、大

阪市北区の関電本店前では、デモ行進や抗議集会に参加した人たちが「電力を原発でまかなう必要はない」などと廃炉を求め怒りの声を上げた。